

科目名	教育学				
担当講師名	藤村一夫	所属・役職		資格・免許	
授業形態	講義・演習	単位数・時間数	1 単位 30 時間	開講年次	2 学年前期
講義の概要	人間形成における教育の意義を知り、コミュニケーションの大切さを理解するとともに、社会学と心理学を関連させた人間教育の理解を深める				
到達目標	<p>この授業は、看護師になるために必要な教育学の知識と技能について、4つの観点（人の発達と学習、指導の基本、さまざまな指導の工夫、学習とキャリア開発）からの習得を目指します。また、アクティブラーニングなどを通して、自分でじっくり考えたり仲間とお互いの考え方を共有したりなど看護師に必要な資質・能力を育成することを目指します。</p> <p>〈具体的到達目標〉</p> <p>①人の学習や発達の特徴について理解することができる</p> <p>②看護師として遭遇する場面で役立つ指導の基本となる知識と技能を身に着けることができる</p> <p>③効果的に指導を進めるうえで活用できる様々な技法を習得することができる</p> <p>④自分自身のキャリアの開発について展望をすることができる</p>				
講義回数	講義内容				
1～7	<p>1. 学ぶことと教えること</p> <p>①生涯学習社会を生きる ②なぜ教育が大切なのか ③教える準備に取り組む</p> <p>2. 人の発達を理解する 1</p> <p>①人の発達の特徴 ②認知能力の発達を理解する</p> <p>3. 人の発達を理解する 2</p> <p>①自己の発達を理解する ②対人関係の発達を理解する</p> <p>4. 学習の原理を理解する</p> <p>①学習とその特徴を理解する ②知識を獲得する ③経験から学習する</p> <p>④参加を通じて学習する</p> <p>5. 指導者の役割と倫理を理解する</p> <p>①指導者にはさまざまな役割がある ②指導者の 6 つの役割 ③指導者としての倫理</p> <p>6. 指導を設計する</p> <p>①指導の設計を始める ②学習目標を設定する</p> <p>③適切な指導方法を選択する ④アクティブラーニングを取り入れる</p> <p>7. 効果的に指導する</p> <p>①効果的な指導の型を理解する ②導入で学習の準備を整える</p> <p>③展開で学習内容を深める ④まとめで学習を定着する</p> <p style="text-align: right;">次ページへ続く</p>				
教科書等	中井俊樹・小林忠資（2022）看護のための教育学第 2 版 医学書院				
成績評価方法	試験（40%）、授業態度（10%）、レポート（50%：小レポート 10 回）				
履修上の留意点					
特記事項					

科目名	教育学				
担当講師名	藤村一夫	所属・役職		資格・免許	
授業形態	講義・演習	単位数・時間数	1 単位 30 時間	開講年次	2 学年前期
講義の概要	人間形成における教育の意義を知り、コミュニケーションの大切さを理解するとともに、社会学と心理学を関連させ人間教育の理解を深める				
到達目標	<p>この授業は、看護師になるために必要な教育学の知識と技能について、4つの観点（人の発達と学習、指導の基本、さまざまな指導の工夫、学習とキャリア開発）からの習得を目指します。また、アクティブラーニングなどを通して、自分でじっくり考えたり仲間とお互いの考え方を共有したりなど看護師に必要な資質・能力を育成することを目指します。</p> <p>〈具体的到達目標〉</p> <p>①人の学習や発達の特徴について理解することができる</p> <p>②看護師として遭遇する場面で役立つ指導の基本となる知識と技能を身に着けることができる</p> <p>③効果的に指導を進めるうえで活用できる様々な技法を習得することができる</p> <p>④自分自身のキャリアの開発に向けた展望をすることができる</p>				
講義回数	講義内容				
8～15	<p>前ページ続き</p> <p>8. 学習を評価する</p> <p>①評価の特徴を理解する②評価の構成要素を理解する③評価の効果を高める④フィードバックを効果的に与える</p> <p>9. 学習意欲を高める技法</p> <p>①学習意欲を理解する②内発動機づけと外発的動機づけ</p> <p>③さまざまな動機づけの理論④学習意欲を高めるさまざまな技法</p> <p>10. コーチングの技法</p> <p>①コーチングを理解する②コーチングのスキルを理解する</p> <p>③上手に意見を伝える④目標に向けて行動を促す</p> <p>11. ディスカッションの技法 1</p> <p>①ディスカッションを理解する②ディスカッションを準備する</p> <p>12. ディスカッションの技法 2</p> <p>①ディスカッションを導く②ディスカッションを活性化させる工夫</p> <p>13. リフレクションの技法</p> <p>①経験を学びに変える②リフレクティブサイクルを理解する</p> <p>③リフレクションを支援する④集団でのリフレクションを促す</p> <p>14. 看護師としての学習を理解する</p> <p>①看護師としての学習の特徴②熟達化を理解する③専門職としての学習④主体的な学習者を目指す</p> <p>15. キャリア開発に向けて学習する</p> <p>①看護師のキャリアを理解する②看護師のキャリアの課題</p> <p>③活躍の場を広げる④キャリア開発のための学習</p>				
教科書等	中井俊樹・小林忠資（2022）看護のための教育学第2版 医学書院				
成績評価方法	試験（40%）、授業態度（10%）、レポート（50%：小レポート10回）				
履修上の留意点					
特記事項					